

法律部門

・「国際経済秩序」に関する研究プロジェクト

これまで、ウルグアイ・ラウンドの合意内容および各国における国内実施のための法制度の改正・整備の状況等について検討してきた。また、今後WTO協定がどのように実施されているかを特に紛争処理等側面から検討を加えていく。

・「独占禁止法」に関する研究プロジェクト

経済法の一般理論についての全体的な考察に加え、競争法と知的財産権、とりわけ著作権との関係をめぐる調査・研究を行なった。

- 石岡克俊「「驛馬と人間」の寓意」『三田評論』（慶應義塾大学）1012号（1999年4月号）
- 石岡克俊「著作物再販をめぐる動向と理論」『法律時報』71巻11号（1999年10月号）
- 石岡克俊「テレビゲーム用ソフトの「映画の著作物」該当性 中古テレビゲームソフト販売差止め東京訴訟判決」（ジュリスト1170号（2000年1月1日・15日合併号））
- 石岡克俊（「公正な競争」、「不当な取引拒絶」、「不当低価販売」、「不当高価格購入」、「優越的地位の濫用」および「両建預金」の項担当）『法律学百科大事典』（共著）（ぎょうせい・2000年）

・「消費者行政および消費者問題」に関する研究プロジェクト

消費者を取り巻く環境の変化に伴い、消費者の意識も変化しつつある。インターネットの普及等情報化が進み、個人情報保護の必要性がこれまで以上に認識されるようになってきた。わが国においても、個人情報保護基本法の制定に向けての議論が深まりを見せてきており、これらの検討においてもこれまでの事例・判例の検討は重要性をもつ。

- 金子晃・石岡克俊・山口由紀子『市民カレッジ・知っておきたい市民社会の法』(共著)(不磨書房、2000年4月)
- 石岡克俊「資料・個人情報保護にかかわる判例の動向」『国民生活』(2000年4月号)

・「労働契約の現代的課題」に関する研究プロジェクト

本プロジェクトについてはテーマを変更し、「現代社会における社会保障制度」に関する研究プロジェクトを新たに開始した。労働法研究プロジェクト共同研究者の内5名の者を中心として、研究を遂行中である。研究内容については、今年度研究計画の項を参照されたい。2001年6月を目処に、共著『社会保障法』(仮題)を出版する予定である。

・「EU労働法の形成」に関する研究プロジェクト

本プロジェクトについては、内藤惠及び、松本健嗣(大学院修士課程学生)により、目下研究続行中である。